

第4学年 特別活動（情報モラル）学習指導案

日時 令和元年11月22日（金）第5校時
 対象 第4学年1組 29名
 学校名 立川市立上砂川小学校

1 単元名 「SNSとの上手なつきあい方」

2 単元の目標

自分を律し、適切に行動できる正しい判断力と、相手を思いやる心、ネットワークをよりよくしようとする公共心をもつことができる。

昼夜逆転やネット依存など健全な生活を維持することへの悪影響がないように健康への意識を高める。また、危険を回避し、安全に生活するための知識を身に付けることができる。

3 単元の評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①情報の発信や情報をやり取りする場合のルール・マナーを知り、守る。 ②情報には、誤ったものもあることに気付く。 ③認証の重要性を理解し、正しく利用する。	①相手への影響を考えて行動する。 ②危険に出会った時や、不適切な情報に出会った時は、大人に意見を求め、適切に対応する。	①自分の情報や他人の情報を大切にす る。 ②個人の情報は、他人に漏らさないよ うにする。 ③健康のために利用時間を決めて守る。 ④協力し合ってネットワークを使う。

4 単元の指導計画と評価計画（5時間扱い）

時	◇指導のねらい	○学習活動	評価規準
1	◇ゲームの依存状態にならないためには、どうしたらよいか考える。	○自分の生活を振り返り、改善すべき点等を見直し、自ら節度を守り、節制に心掛ける。	思考力、判断力、表現力等
2	◇安全に賢くインターネットを利用する方法を理解する。	○インターネット上には、無料を装って個人情報を取得するウェブサイトやアプリが存在することを理解する。	知識及び技能
3	◇相手の立場を考えながら、適切にSNSを使おうとしようとする。	○インターネットがいつでもどこでも利用できるとは限らないことを理解し、相手の状況や気持ちを考え、思いやりの気持ちをもつ。	思考力、判断力、表現力等
4	◇情報セキュリティに対して正しい知識と適切な態度を身に付ける。	○パスワードを設定することの重要性と、パスワードを設定し、管理する時にどのようなことに注意が必要かを理解する。	知識及び技能
5 本 時	◇インターネットでのコミュニケーションの特徴やその他のコミュニケーションツールの特徴を理解し、相手の立場を考えたやりとりをしようとする。	○コミュニケーションツールには、それぞれの利点と欠点があり、時と場合に応じて使い分ける必要があることを理解する。それらを通して、相手の状況や気持ちを考え、思いやりをもってやりとりしようとする。	思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等

5 授業観察のポイント

- ・児童が自分のこととして問題を捉えて考えていたか。
- ・相手の状況や気持ちを考えて行動する大切さを、自分の言葉で書いていたか。

6 本時における情報モラル教育の要素

■本時で使うもの □本時では使わないもの

情報モラル教育の要素	<p>【情報社会の倫理】 □発信する情報や情報社会での行動に責任をもつ。 ■情報に関する自分や他者の権利を尊重する。</p> <p>【法の理解と遵守】 □情報社会でのルール・マナーを遵守できる。</p> <p>【安全への知恵】 □情報社会の危険から身を守ると共に、不適切な情報に対応できる。 □情報を正しく安全に利用することに努める。 ■安全や健康を害するような行動を抑制できる。</p> <p>【情報セキュリティ】 □生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る。</p> <p>【公共的なネットワーク社会の構築】 □情報社会の一員として、公共的な意識をもつ。</p>
児童の情報モラル習熟度	1学期の道徳授業地区公開講座で、『けいたい電話の落としあな』を学習し、2学期に、本単元を学習する。

7 本時（全5時間中の第5時間目）

(1) 本時の目標

コミュニケーションツールには、利点と欠点があることを理解し、相手の状況や気持ちを考え、思いやりをもってやりとりしようとする。

(2) 本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	☆指導上の留意点 *資料	◆学習活動の即した具体的な評価規準（評価方法）
導入 5分	○アンケート結果を確認する。 ・会って遊びの約束をする。 ・急な用事は電話で伝える。 ・SNSで明日学校に必要な持ち物を確認する。	*児童が、日常的にどのような手段でコミュニケーションを取っているのかのアンケート結果 ☆時と場合に応じて、コミュニケーションツールを使い分けていることを押さえる。	
適切なコミュニケーションの取り方について考えよう。			
展開 25分	○導入動画を視聴し、お互いにどのようなことを思ったのか、どうして誤解したのかをワークシートに書く。 【お互いに思ったこと】 ・ひろしさんは、●●と思った。 ・かずやさんは、▲▲と思った。 【どうして誤解したのだろう】 ・スタンプだから相手の気持ちが分かりにくい。 ○解説動画を視聴し、どのようにすれば誤解しなかったのかを考える。 ・誤解されないような言い方、書き方考える。 ○コミュニケーションを取る時に、気を付けたいことを考える。	*文部科学省 動画教材 ☆双方の立場での意見を比較できるように板書し、誤解していることに気付かせる。 ☆誤解が生じたことにより、心情的な動きにも言及できるように支援する。ストレスや不安感は双方とも感じていることを理解させる。 ☆経験をもとに、相手を思いやることが重要であることを理解させる。 ☆コミュニケーションの手段を適切に判断し、使い分ける必要性に気付かせる。	◆学びに向かう人間性等健康のために利用時間を決めて守る。 （ワークシート・発言）
まとめ 15分	○これから自分が気を付けることをワークシートにまとめる。	☆具体的な実践方法を自己決定できるよう、話し合った工夫を参考にさせる。 ☆学校で話し合ったことを家庭でも話し合うように伝える。	◆思考力・判断力・表現力等相手への影響を考えて行動する。 （ワークシート・発言）

